

## 東日本大震災と東北支援

東北地方太平洋沖で発生した地震や津波に対し、被災された皆さまには心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

2011年3月11日、午後2時46分。東日本大震災が発生しました。

わかさ生活本社のある京都でも少しの揺れがありましたが、震源地が遠く離れた東北であるとは、すぐに分かりませんでした。

テレビなどの報道を通じ、少しずつ明らかになっていく情報。映し出される、信じられないような映像の数々。その光景は、今でも鮮明に目に焼き付いています。

その後、社長角谷の号令のもと、全社全部署全従業員が情報収集や対応策決定のための話し合いを行いました。

“自分たちに何か少しでもできることはないだろうか…”

私たちは、“できることから始めよう”の精神から、わかさ生活としてできることを考えました。

また、社長角谷は阪神淡路大震災の被災経験から学んだことがあります。

それは、「復興支援というのは一時的なものではなく、継続的な支援が必要である」ということ。

この角谷の考えから雇用支援を決定し、「東北コミュニケーションズ」開所に向けて動いていきました。

以下では、東日本大震災から今までわかさ生活が行ってきた支援を、順を追って紹介しています。

## 義援金と支援物資の寄贈

「サプリメント」で健康をお届けする企業としてわかさ生活ができること。それは、やはり“栄養”面でのお手伝いです。3月18日に中央共同募金会を通じて、義援金『3億円』と、支援物資「サプリメント」(マルチビタミン、毎日ぐら〜んとカルシウム)を合計104,000袋寄贈させていただきました。

■マルチビタミン(12種類の総合ビタミン)100,000袋(段ボール333箱)

■毎日ぐら〜んとカルシウム(3粒で牛乳びん2本相当)4,000袋(段ボール63箱)



寄贈したマルチビタミンを持つ仙台市災害ボランティアセンターのスタッフの方々

## 雇用支援について

「復興支援というのは一時的なものではなく、継続的な支援が必要である」

今回の震災に伴い、報道等で就職の内定取り消しや、就業が困難な方が多くいらっしゃることを知りました。

「少しでもお役に立てれば…」 「チャンスがほしい」と思う方の応援もなれば…」

このような思いから、当社として継続的にできることはないかと考え、雇用支援をすることを決定いたしました。

2011年4月9日よりハローワーク様を通じて、震災特例求人申込みを開始致しました。雇用支援内容は、震災により内定取り消しを受けた新卒者(高校卒業者)を中心に、就業が困難になった方を正社員として雇用するものです。



ご家族に直接お会いし、会社・仕事・雇用支援内容・今後・ご本人の様子(入社されている方)をお話しています



岩手県に赴き進路指導の先生方に雇用支援内容をお伝えする従業員

## 経済産業大臣より表彰状の授与

「2011年8月2日、「被災地の復旧・復興に貢献した企業」として経済産業大臣から表彰状をいただきました。義援金として3億円と、ビタミン・カルシウムのサプリメント10万袋の支援をはじめ、内定取り消しにあった新卒者(高校生含む)の雇用支援も継続して行っていました。



その取り組みが評価され、今回の表彰に至りました。このことは経済産業省のホームページにも掲載されました。

## 東北コミュニケーションズ開所が決定

東日本大震災の被災地復興支援のお役に立ちたいとの思いから、2012年、宮城県仙台市に「東北コミュニケーションズ」を開所することを決定いたしました。

わかさ生活は東北コミュニケーションズの開設を通じ、仙台を中心とした東北地方に必要とされる会社を目指しております。

当支社ではお客様とご縁を大切にすることを原点に、お電話やインターネットだけでなく、直接お客様とお会いする友の会や感謝祭を通じ、さらにお客様との「縁」を深め、心と健康のお役に立てるコミュニケーションを行う業務に取り組んでおります。その業務を進める中心メンバーは、東日本大震災の雇用支援として弊社が受け入れたメンバー達です。

また、支社を開業した仙台市で、2011年10月21日に立地表明式と共同記者会見を行いました。記者会見には、仙台市長と社長角谷、東北から雇用支援で受け入れたメンバー14名が参加しました。

## わかさ生活の東北復興支援に寄せられたお声

わかさ生活が行っている東北復興支援の活動に対して、お客様からたくさんのお声の応援をいただきました。

### みんなで、わかさ生活を応援していきたい!

東日本大震災で多くの方が職を失われた後、わかさ生活が仙台に支社を開き、多くの雇用が生まれたことに大変感激しております。  
みんなでわかさ生活を一生懸命に応援していこうよと、声を大にして伝えたいです。

(大分県別府市 女性)

### 経営姿勢や社長の心の広さに感動しました。

昨年3月11日の東日本大震災と原発事故で、いわき市に避難して早くも10ヶ月以上が経ちました。  
わかさ生活さんからマルチビタミンを支援物資としていただき、本当にうれしく思いました。  
そして、この度東北支社ができるとお聞きし、わかさ生活の経営姿勢や社長の心の広さを実感しました。  
東北の若者を雇用されたことにも感動しています。  
たくさんの義援金を出されたことにも、被災者の一人として御礼申し上げます。

(福島県いわき市 女性)

## 台風12号・紀伊半島豪雨

2011年8月25日の台風12号による紀伊半島豪雨に対し、被災された皆様こま心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

### 義援金の寄贈

#### ■ 義援金 総額 1億円

紀伊半島豪雨により被害にあわれた方々への支援および被害地域の復興に役立てていただくために、義援金を以下の各市町村に直接寄贈いたしました。

支援させていただく経緯は、代表の角谷が社会人として初めて健康食品の店舗運営を任された場所が和歌山県の田辺市でした。また以下の地域にも弊社のお客様がたくさんいらっしゃり、被害にあい、困っておられる皆様のために「何かできることはないか」と考えたためです。

和歌山県		奈良県		三重県	
田辺市	3,000万円	十津川村	1,000万円	紀宝町	500万円
那智勝浦町	2,000万円	五條市	1,000万円		
新宮市	2,000万円	天川村	500万円		